

## バーコードリーダー設定表

(設定項目：プリアンブル)

設定内容：プリアンブルの位置に任意のキャラクタを挿入することができます。

設定例：“123456789 “の先頭に” 1 “を付けて” 1123456789 “で送信する。”

送信データフォーマット

STX	プリアンブル	桁数	プリフィックス シンボル ID	読み取り データ	サフィックス シンボル ID	ポスト アソブル	ETX	レコード サフィックス
-----	--------	----	--------------------	-------------	-------------------	-------------	-----	----------------

以下のバーコードを順番に読み取って設定して下さい。

①：設定開始



②：プリアンブル設定



下記の設定項目のいずれかを選択してください。

③：設定しない	③：設定する
	次のページの ASCII コード表に進んで任意のキャラクタを設定バーコードでセットしてください。
④：設定終了	
設定しないの場合、ここで設定は終了です。	

## ASCII コード表

HEX 値	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DEL	SPACE	0	@	P	·	P
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	Q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	R
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	S
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	T
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	U
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	V
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	W
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	X
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	Y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	Z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	\	l	
D	CR	GS	~	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	

設定例：プリアンブルに“1”をセットする場合

“1をセットする場合、”ASCIIコード表の“1”がある場所が重要となります

“1”は横の列で4列目にあり、横列の番号で言うと「3」の列にあります。

“1”は縦の列で2列目にあり、縦列の番号で言うと「1」の列にあります。

よって、ASCIIコード表の“1”は「3」「1」となり

設定用バーコードは 「3」「1」「セット」「設定終了」と読み取ります。

複数のキャラクタをセットする場合

(プリアンブルでは、最大15キャラクタまで設定を行うことが可能です。)

設定例：“1”“A”をセットする。

ASCIIコード表で“1”は「3」「1」、 “A”は「4」「1」となります。

設定用バーコードは「3」「1」「4」「1」「セット」「設定終了」と読み取ります。

## 設定用バーコード



0



8



4



C



1



9



5



D



2



A



6



E



3



B



7



F



セット



設定終了